

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2019-1107 (P2019-1107A)

【公開日】平成 31 年 1 月 10 日 (2019.1.10)

【年通号数】公開・登録公報 2019-001

【出願番号】特願 2017-119068 (P2017-119068)

【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

H 0 4 L 9/08 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/00 Z

H 0 4 L 9/00 6 0 1 C

H 0 4 L 9/00 6 0 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 26 日 (2019.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷制御装置であって、

暗号化通信を制御する通信制御手段と、

印刷処理を制御する印刷制御手段を有し、

前記通信制御手段が暗号化された共通鍵を復号する際の優先度は第 1 優先度であり、前記印刷制御手段の優先度は前記第 1 優先度よりも高い第 2 優先度であり、

前記通信制御手段と前記印刷制御手段に対する前記印刷制御装置のリソース配分は、前記優先度に従って決定されることを特徴とする印刷制御装置。

【請求項 2】

前記通信制御手段が暗号化された共通鍵を復号する際の優先度として前記第 1 優先度が前記通信制御手段に割り当てられ、前記通信制御手段が前記共通鍵を使って暗号化された印刷データを復号する際の優先度として前記通信制御手段に前記第 2 優先度よりも高い第 3 優先度が割り当てられることを特徴とする請求項 1 に記載の印刷制御装置。

【請求項 3】

前記通信制御手段が暗号化された共通鍵を復号する際の優先度として前記第 1 優先度が前記通信制御手段に割り当てられ、前記通信制御手段が前記共通鍵を使って暗号化された前記印刷制御装置のステータスを応答する際の優先度として前記通信制御手段に前記第 1 優先度よりも高い第 4 優先度が割り当てられることを特徴とする請求項 1 に記載の印刷制御装置。

【請求項 4】

前記第 4 優先度は、前記第 2 優先度と同じであることを特徴とする請求項 3 に記載の印刷制御装置。

【請求項 5】

前記通信制御手段が起動されることに応じて前記第 1 優先度が割り当てられることを特

徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の印刷制御装置。

【請求項 6】

前記通信制御手段により実行される前記暗号化通信は、SSL 通信であることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の印刷制御装置。

【請求項 7】

前記暗号化された共通鍵を復号する処理を含むハンドシェーク処理を実行する際の優先度として前記通信制御手段に前記第 1 優先度が割り当てられることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の印刷制御装置。

【請求項 8】

前記通信制御手段が暗号化された共通鍵を復号する処理と前記印刷制御手段による処理は並行して実行されることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の印刷制御装置。

【請求項 9】

印刷制御装置の制御方法であって、

暗号化通信を制御する通信制御工程と、

印刷処理を制御する印刷制御工程を有し、

前記通信制御工程において暗号化された共通鍵を復号する際の優先度として第 1 優先度で前記通信制御工程が実行され、前記印刷制御工程は前記第 1 優先度よりも高い第 2 優先度で実行され、

前記通信制御工程と前記印刷制御工程に対する前記印刷制御装置のリソース配分は、前記優先度に従って決定されることを特徴とする制御方法。

【請求項 10】

コンピュータを、

暗号化通信を制御する通信制御工程と、

印刷処理を制御する印刷制御工程として動作させ、前記通信制御工程において暗号化された共通鍵を復号する際の優先度として第 1 優先度で前記通信制御工程が実行され、前記印刷制御工程は前記第 1 優先度よりも高い第 2 優先度で実行され、

前記通信制御工程と前記印刷制御工程に対する前記コンピュータのリソース配分は、前記優先度に従って決定されることを特徴とする前記コンピュータが読み取り可能なプログラム。

【請求項 11】

前記通信制御工程において暗号化された共通鍵を復号する際の優先度として前記第 1 優先度で前記通信制御工程が実行され、前記通信制御工程において前記共通鍵を使って暗号化された印刷データを復号する際の優先度として前記第 2 優先度よりも高い第 3 優先度で前記通信制御工程が実行されることを特徴とする請求項 10 に記載のプログラム。

【請求項 12】

前記通信制御工程において暗号化された共通鍵を復号する際の優先度として前記第 1 優先度で前記通信制御工程が実行され、前記通信制御工程において前記共通鍵を使って暗号化された前記画像形成装置のステータスを応答する際の優先度として前記第 1 優先度よりも高い第 4 優先度で前記通信制御工程が実行されることを特徴とする請求項 10 に記載のプログラム。

【請求項 13】

前記第 4 優先度は、前記第 2 優先度と同じであることを特徴とする請求項 12 に記載のプログラム。

【請求項 14】

前記通信制御工程が起動されることに応じて前記第 1 優先度が割り当てられることを特徴とする請求項 10 乃至 13 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 15】

前記通信制御工程において実行される暗号化通信は、SSL 通信であることを特徴とする請求項 10 乃至 14 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 16】

前記暗号化された共通鍵を復号する処理を含むハンドシェーク処理を実行する際の優先度として前記第1優先度で前記通信制御工程が実行されることを特徴とする請求項10乃至15のいずれか1項に記載のプログラム。

【請求項 17】

前記通信制御工程における暗号化された共通鍵を復号する処理と前記印刷制御工程における処理は並行して実行されることを特徴とする請求項10乃至16のいずれか1項に記載のプログラム。